

## 4 文化・スポーツ

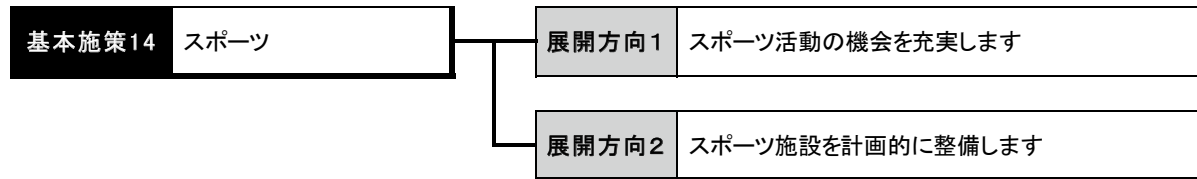
### 基本施策 14 スポーツ

#### ◆現況と課題



- 小牧市では、平成 22(2010)年 10月に「小牧市スポーツ振興計画(目標年度：平成 31(2019)年度)」を策定し、市民一人ひとりが心身ともに健やかな生活が送れるよう、スポーツ・レクリエーションにより、市民の健康保持・増進を目指しています。
- 市内の主要なスポーツ施設の利用者数は、平成 10(1998)年度の約 49万人から平成 23(2011)年度の約 110万人へと大きく増加していますが、その内訳を見ると、南スポーツセンター水泳プールや武道館、パークアリーナ小牧では利用者が急増している一方、利用者が伸び悩んでいる施設があります。
- スポーツ・レクリエーションによる市民の健康保持・増進のため、こども・成人・高齢者などのライフステージや、肥満予防・ダイエット・転倒防止などの目的に応じたスポーツプログラムの提供と普及に努める必要があります。
- 今後、既存のスポーツ施設では、経年による老朽化の進行に伴い、施設の機能低下や維持管理にかかる経費の増大が懸念されます。このため、各施設の利用実態や老朽化の度合いなどを踏まえつつ、計画的な整備を推進する必要があります。

#### ◆基本施策の目的および体系

健康づくりの一環として、だれもが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツを楽しむことができるよう、スポーツを生活の中に取り入れる環境（仕組み）を整えます。



◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	基準値	目指す方向性
市民（成人）の週1回以上のスポーツ（運動）実施率	37.6%	
体育施設の年間利用者数	1,518,827 人	

◆基本施策の展開方向1：スポーツ活動の機会を充実します



【目的】

○それぞれの年齢や体力、興味・目的などに応じて、より多くの市民がスポーツに親しむことができる環境を整えます。

【手段】

①より多くの市民がスポーツに親しめるように、スポーツ指導者等の養成やスポーツ大会、スポーツ教室などを実施します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向性
各種スポーツ教室・講座参加者満足度	—	
市民スポーツ大会などへの参加者数	17,121 人	
各種スポーツ教室・講座への参加者数	2,995 人	
スポーツ振興会*を知っている市民の割合	63.1%	
スポーツ指導者の養成講座・講習会の参加者数	112 人	

**◆基本施策の展開方向2：スポーツ施設を計画的に整備します****【目的】**

○市民がスポーツ施設を安全に利用できる環境を整えます。

**【手段】**

①既存スポーツ施設の利用実態や老朽化の状況を踏まえた計画的な整備を推進します。

**【展開方向の進捗状況を測定するための指標】**

指標名	基準値	目指す方向性
公共のスポーツ施設の利用者満足度 (スポーツ公園運動施設)	88.9% (H24年度)	
公共のスポーツ施設の利用者満足度 (南スポーツセンター)	75.0% (H24年度)	
公共のスポーツ施設の利用者満足度 (温水プール)	—	

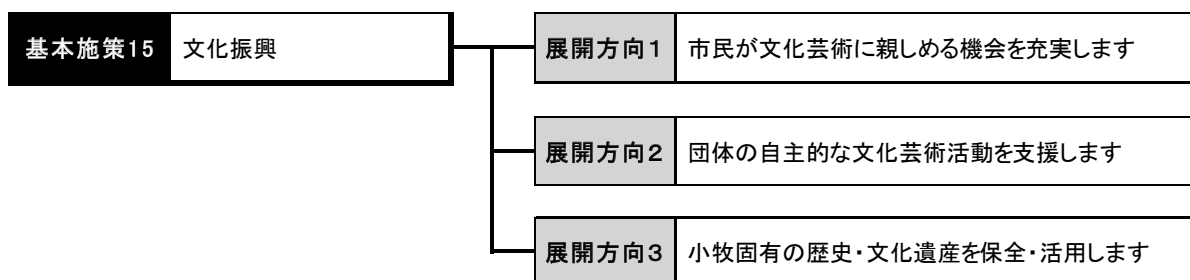
**基本施策 15**    **文化振興**

◆ 現況と課題


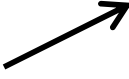
- 文化や芸術は、人々の暮らしに楽しさや感動、安らぎをもたらすとともに、創造性やさまざまな文化に対する理解により豊かな心を育んでいます。また、地域の歴史や伝統を尊び、学ぶことは、地域への愛着や誇りの醸成につながり、今後ますます国際化が進展すると見込まれる中で、その取組みの重要性が高まっています。
- 小牧市では、平成 23 (2011) 年度に「第 2 次小牧市文化振興ビジョン 2011-2020」を策定し、「市民とともにつくる文化のまち こまき」を基本目標に掲げ、市民と行政の協働による文化振興に取り組んでいます。
- 協働のパートナーとして、市内には多種多様な分野にわたる文化芸術団体が活動していますが、それぞれの団体では、会員の固定化や高齢化が進んでいることから、文化振興に対する幅広い世代の関心を高め、具体的な活動への参加を促進することが課題となっています。
- 小牧市のシンボルである小牧山<sup>\*</sup>は、史跡公園や園路が整備され、緑豊かな憩いの場として、多くの市民に利用されています。近年の発掘調査によって山頂付近で当時の石垣が発見され、これまでの常識を打ち破る織田信長の革新的な城づくりの姿が徐々に明らかとなり、近世城郭へとつながる原型ではないかと大きな注目を浴びています。
- 史跡小牧山の整備については、合瀬川緑道整備、小牧駅前線の延伸などの周辺整備とあわせ、駐車場・駐輪場のほか、交通ルート案内図の整備など小牧山の歴史と自然、景観とが調和した整備を進める必要があります。

## ◆基本施策の目的および体系

幅広い世代が自主的に文化芸術活動に取り組める環境を整えるとともに、小牧固有の歴史や文化、伝統にふれあう機会を充実します。



## ◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	基準値	目指す方向性
日頃から文化芸術に親しんでいる市民の割合	49.9%	
小牧の歴史・文化に興味・関心を持っている市民の割合	63.1%	

## ◆基本施策の展開方向1：市民が文化芸術に親しめる機会を充実します


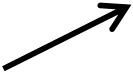
### 【目的】

○市民の文化芸術への関心を高めます。

### 【手段】

①舞台芸術祭や音楽祭、演奏会、美術展、講座の開催など多様な文化芸術を鑑賞する機会や活動成果の発表機会を充実します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向性
市主催の文化芸術イベントへの来場者数	32,331 人	
来場者の満足度	96.2% (H24 年度)	

◆基本施策の展開方向2：団体の自主的な文化芸術活動を支援します

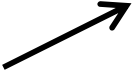
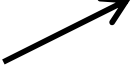
【目的】

○こどもから高齢者まで幅広い世代の市民による主体的な文化芸術活動を促進します。

【手段】

- ①市内に拠点を置く文化芸術団体の活動を支援します。
- ②こどもの頃から伝統文化や文化芸術活動を体験できる機会を確保します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向性
支援を行った文化芸術団体の事業参加者数	35,804 人	
こどもまたは親子で参加する文化体験教室などの参加者数	300 人	

### ◆基本施策の展開方向3：小牧固有の歴史・文化遺産を保全・活用します


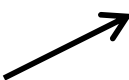

#### 【目的】

○市民共有の財産である小牧固有の歴史・文化遺産を将来にわたって継承します。

#### 【手段】

- ①小牧山をはじめとする小牧固有の歴史・文化遺産の適切な保護・保存・管理に努めます。
- ②展示会や講座、講演会の開催などより多くの人々が小牧固有の歴史・文化遺産にふれられる機会を充実します。

#### 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向性
指定文化財の数	40件	
小牧市のシンボルが小牧山と思う市民の割合	87.5%	
歴史・文化講座の参加者数	1,687人	

## 基本施策 16 生涯学習

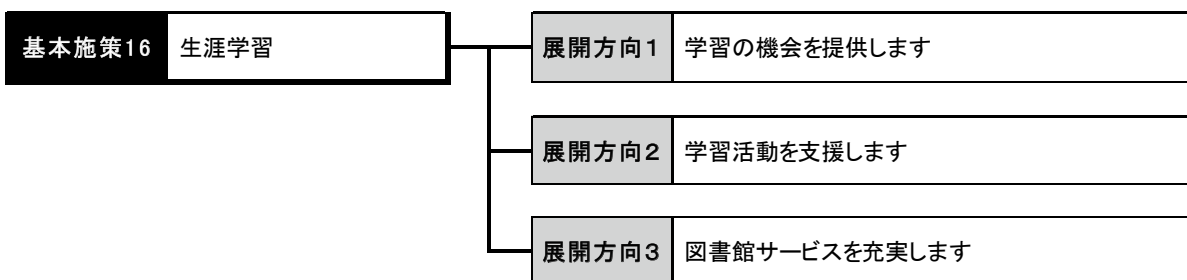
### ◆現況と課題

- 災害時の助け合いや要援護者の見守りなど、全国的にさまざまな面で地域を取り巻く課題が複雑化している中、生涯学習に期待される役割も変化しており、従来のように個人の生きがいがづくりだけではなく、人々が生涯学習で得た成果を地域の教育力の向上やより良い地域づくりに活かすことが求められています。
- 現在、小牧市では、平成 25（2013）年 3 月に策定した「第 3 次小牧市生涯学習推進計画（計画期間：平成 25（2013）年度～31（2019）年度）」のもと、「であい、まなびあう：学びの機会と環境の整備」「いかす：学びの成果が社会に還元される仕組みづくり」「つなげる：生涯学習活動の輪の拡大と地域力向上」を 3 本柱とする事業を展開し、学びの好循環による生涯学習のまちづくりに取り組んでいます。
- 同計画の策定に際して実施した市民意識調査によると、生涯学習に関心を持つ市民の割合は約 5 割と高いものの、実際に活動を行っている市民の割合は約 3 割にとどまっています。このような実態を踏まえ、より多くの市民が活動に取り組めるようにするためには、さまざまな機会を活かした活動のきっかけづくりや、生涯学習に関する情報提供および相談体制などを強化する必要があります。




### ◆基本施策の目的および体系

市民一人ひとりが生涯にわたってさまざまな学習活動に取り組み、その成果をより良い地域社会づくりに活かすことで、地域力の向上につなげます。





◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	基準値	目指す方向性
生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	15.7%	
生涯学習活動による成果を地域社会に活かしている市民の割合	40.2%	
市民の図書館に対する満足度	55.4%	

◆基本施策の展開方向1：学習の機会を提供します




【目的】

○日常的に生涯学習活動に取り組んでいる市民を増やします。

【手段】

①年代やニーズを踏まえながら、より多くの市民が生涯学習活動に参加できるよう講座などを開催します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向性
市民講座が開かれていることを知っている市民の割合	78.3%	
市民講座受講者数	1,947人	
市民講座を受講して、社会貢献活動してみたいと思った市民の割合	—	

◆基本施策の展開方向2：学習活動を支援します




【目的】

- 学習活動に必要な情報を得やすくします。
- より良い地域社会づくりに向けた市民主体の地域活動を支援します。
- 安全で快適な学習活動の場を確保します。

【手段】

- ①学習を始めたい時や学んだ成果を活かしたい時など、さまざまな場面に応じた適切な情報発信や相談体制を充実します。
- ②学んだ経験や成果をさまざまな形で地域社会に活かすことができる仕組みを充実します。
- ③既存の生涯学習施設の計画的な整備を推進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向性
こまなびサロン*を知っている市民の割合	24.5%	
生涯学習に関する相談件数	152件	
社会活動の支援や指導に関わってみたいと思う市民の割合	36.1%	

### ◆基本施策の展開方向3：図書館サービスを充実します




#### 【目的】

- 図書館を生涯学習活動の拠点として、より多くの市民が利用できるようにします。
- こどもの頃から読書の習慣を身に付け、読書により豊かな心が育まれるよう支援します。

#### 【手段】

- ①図書、雑誌、新聞、視聴覚資料などの多種多様な資料の提供を行います。
- ②現在の図書館の問題点を把握し、だれもが利用しやすい図書館の建設を検討します。
- ③市内各小・中学校へ図書の専門的知識を有する図書館司書を配置します。
- ④ブックスタート<sup>\*</sup>を手始めに、乳幼児向けの読み聞かせを定期的  
に開催します。

#### 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向性
市民1人あたりの図書などの年間貸出冊数	7冊	
1年以内に図書館を訪れたことがある市民の割合	36.1%	
おはなし会などの参加人数	7,375人	

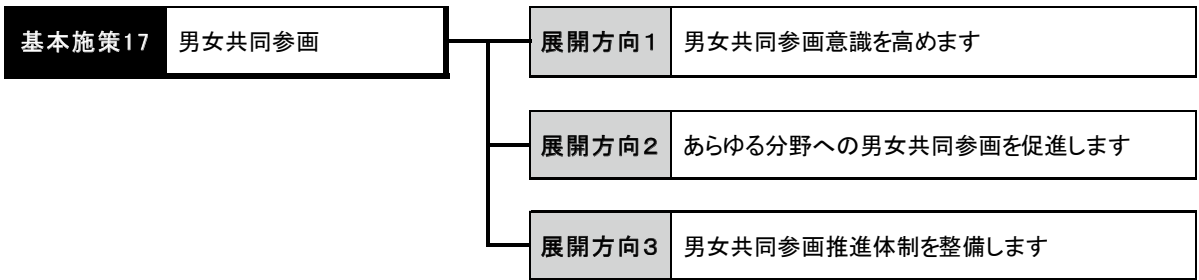
**基本施策 17**      **男女共同参画**

◆ 現況と課題


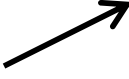
- 小牧市では、平成 15（2003）年 4 月に「小牧市男女共同参画条例」を施行し、男女が、互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画し、性別に関わりなく自らの意思と選択に基づいて自分らしく生きることが出来る男女共同参画社会の実現を目指しています。
- 近年、小牧市では、男女共同参画に対する意識の高揚やさまざまな分野への男女共同参画の促進、相談対応や講座開催などによる男女共同参画推進体制の充実に努めています。これらの取組みの結果、「男女の区別なく活動できていると思う市民の割合」は、平成 24（2012）年度には平成 20（2008）年度に比べ 4 ポイント増の 60.5%となっています。
- 男女共同参画社会の実現に向け、今後も引き続き、国や県、関係団体との連携・協力のもと、男女共同参画に対する意識の高揚やより広範な分野への男女共同参画の促進、男女共同参画推進体制の充実に取り組む必要があります。

◆ 基本施策の目的および体系

男女がお互いにその個性と能力を十分に発揮することによって、多様性に富んだ活力ある男女共同参画社会の実現を目指します。



## ◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	基準値	目指す方向性
男女の区別なく活動できていると思う市民の割合	58.4%	
子育て・介護と仕事の両立のための支援が充実していると思う市民の割合	46.4%	

## ◆基本施策の展開方向1：男女共同参画意識を高めます

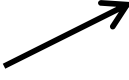

## 【目的】

○男女の固定的な性別役割分担意識の解消と男女共同参画への理解を促進します。

## 【手段】

- ①男女共同参画に対する市民意識の変化を継続的に把握します。
- ②男女共同参画の広報・啓発活動を行うとともに、各種講座・講演会の開催など学習機会を充実します。
- ③こどもの頃からの男女共同参画の理解を促進するために、将来を見通した自己形成ができるような広報・啓発活動を進めます。
- ④男性が、固定的性別役割分担意識から脱却するための広報・啓発活動を進めます。
- ⑤各行政区への男女共同参画普及員<sup>\*</sup>の配置を推進します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向性
男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合	45.8%	
男女共同参画をテーマとした各種講座・講演の参加者数	4,471人	

◆基本施策の展開方向2：あらゆる分野への男女共同参画を促進します

【目的】

○職場・家庭・地域などあらゆる場面における男女共同参画の実現を支援します。

【手段】

- ①市の審議会などへの女性の登用を増やします。
- ②ワーク・ライフ・バランス<sup>\*</sup>の普及やその実現に向けた職場・保育・介護環境の整備を支援します。
- ③ウイメンズネットこまき<sup>\*</sup>への加入団体を増やすため、情報交換や交流会の開催などを通じ、団体間のネットワークを強化します。
- ④経済的に困難な状況にある女性の自立を支援します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向性
審議会等附属機関への女性の登用率	28.1%	
ウイメンズネットこまきの加入団体数	14 団体 (H25 年度)	

## ◆基本施策の展開方向3：男女共同参画推進体制を整備します


## 【目的】

○男女共同参画を推進するための体制を充実します。

## 【手段】

- ①女性センター<sup>\*</sup>を男女共同参画社会実現に向けた推進拠点とし、時代に適応した学習機会の提供や情報の収集・発信を推進します。
- ②女性が抱える人間関係などの悩みを救済するための相談体制を充実します。
- ③女性が長期的な視点でキャリアデザインを描けるよう、キャリア教育<sup>\*</sup>を推進します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向性
女性相談の窓口を知っている女性の割合	52.1%	
女性相談でDV <sup>*</sup> 相談が受けられると知っている女性の割合	69.7%	